

2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年8月10日

上場会社名 ナイス株式会社 上場取引所 東
コード番号 8089 URL <https://www.nice.co.jp/>
代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 杉田 理之
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 津戸 裕徳 (TEL) 045-521-6111
四半期報告書提出予定日 2023年8月10日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第1四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(％表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	49,469	△11.5	111	△91.7	213	△83.8	2,064	91.9
2023年3月期第1四半期	55,924	10.5	1,352	27.6	1,323	37.1	1,075	92.4

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 2,438百万円(228.3%) 2023年3月期第1四半期 742百万円(52.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	175.04	—
2023年3月期第1四半期	91.33	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第1四半期	161,027	53,864	31.0	4,232.92
2023年3月期	156,722	51,390	30.6	4,070.35

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 49,919百万円 2023年3月期 48,003百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	40.00	40.00
2024年3月期	—	—	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	20.00	—	30.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(％表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	244,000	3.2	4,500	△15.0	4,000	△19.2	3,800	0.5	322.02

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2024年3月期1Q	12,170,719株	2023年3月期	12,170,719株
② 期末自己株式数	2024年3月期1Q	377,664株	2023年3月期	377,357株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2024年3月期1Q	11,793,120株	2023年3月期1Q	11,775,803株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 5
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	P. 7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	P. 8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 9
(継続企業の前提に関する注記)	P. 9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 9
(セグメント情報等)	P. 9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、ロシア・ウクライナ情勢の長期化等に伴う不安定な国際情勢の中、国内情勢も雇用・所得環境の改善や、個人消費、インバウンド需要の回復などが見られた一方で、物価やエネルギー価格の高騰等が続くなど先行き不透明感がより一層強くなっております。

住宅業界においては、当社の事業にかかわる一戸建住宅の新設着工戸数が、当第1四半期連結累計期間において持家57千戸（前年同期比11.9%減少）、分譲35千戸（前年同期比4.0%減少）といずれも減少したほか、木材価格も一昨年の高騰以降の調整局面が続きました。

このような状況の中、当社グループの当第1四半期連結累計期間における売上高は494億69百万円（前年同期比11.5%減少）、営業利益は1億11百万円（前年同期比91.7%減少）、経常利益は2億13百万円（前年同期比83.8%減少）となりましたが、連結子会社が固定資産売却益を計上したため、親会社株主に帰属する四半期純利益は20億64百万円（前年同期比91.9%増加）となりました。また、株式会社ヤマダホールディングスと住生活産業に係る包括的な取り組みを推進しました。

当社グループは2023年5月12日に「中期経営計画2023」を発表しました。当社のルーツで、エコマテリアルである木材の利活用の推進等、本計画に掲げた諸施策を確実に実行していくことで、持続的な成長及び更なる企業価値の向上を実現してまいります。

セグメント別売上高の内訳

(単位：百万円)

セグメント	部門	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	増減
建築資材	建築資材	47,014	40,956	△6,057
	木材市場	89	73	△15
	計	47,103	41,030	△6,073
住宅	マンション	821	748	△73
	一戸建住宅	1,902	1,254	△648
	管理その他	3,903	4,192	288
	計	6,628	6,194	△433
その他	その他	2,192	2,244	51
	合計	55,924	49,469	△6,454

【建築資材事業】

建材・住宅設備機器については、2025年の省エネ基準適合義務化など、住宅の省エネ性能の見直しが加速する中、環境配慮型商品の提案営業のほか、工務店様によるZEHの取り組みに対するサポートを強化し、主要取引先からの受注等が堅調に推移しました。

また、木材については、宮崎県産飢肥杉の大径木を利用した高耐久赤身材「ObiRED®（オビレッド）」や独自の表層圧密技術「Gywood®（ギュッド）」を施した国産無垢材の当社オリジナル木材製品の利用促進等に努めましたが、木材価格動向等の影響もあり、売上高は410億30百万円（前年同期比12.9%減少）、営業利益は5億62百万円（前年同期比69.8%減少）となりました。

なお、当社グループは、2023年5月9日、農林水産省と「国産材の利用拡大に関する建築物木材利用促進協定」を締結しました。

商品別売上高

(単位：百万円)

	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	増減
木材	19,757	13,262	△6,495
建材・住宅設備機器	27,256	27,694	438
木材市場	89	73	△15
合計	47,103	41,030	△6,073

【住宅事業】

当社の主力エリアである「横浜・川崎エリア」のほか、宮城県仙台市、栃木県宇都宮市、静岡県浜松市、愛知県豊田市などにおいてエリア戦略の強化を図るとともに、2023年4月1日付で情報館事業部に中古マンション買取再販事業を行う「中古再生営業部」と「リフォーム営業部」を設置し、東京・神奈川における既存住宅流通事業の営業体制の強化を図りました。

マンション事業については、2024年3月に売上計上予定の新築マンションの契約が堅調に推移したものの、当第1四半期連結累計期間の売上計上戸数は前年同期を下回りました。

これらの結果、売上高は61億94百万円(前年同期比6.5%減少)、営業損失は2億5百万円(前年同期は営業損失3億79百万円)となりました。

① マンション・一戸建住宅の売上計上・契約戸数実績 (売上計上戸数実績)

(単位：戸)

	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	増減
マンション	20	18	△2
（首都圏）	(20)	(18)	(△2)
（その他）	(－)	(－)	(－)
一戸建住宅	38	24	△14
合計	58	42	△16

(契約戸数実績)

(単位：戸)

	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	増減
マンション	66	78	12
（首都圏）	(23)	(27)	(4)
（その他）	(43)	(51)	(8)
一戸建住宅	58	52	△6
合計	124	130	6

② 販売用不動産の内訳

契約済を含む「完成販売用不動産」は、前連結会計年度末に比べ64百万円減少いたしました。建築中の「仕掛販売用不動産」は、前連結会計年度末に比べ37億43百万円増加いたしました。また、建築着工前の「開発用不動産」は、マンション建築の着工が進んだため、前連結会計年度末に比べ23億63百万円減少いたしました。

「販売用不動産」合計では前連結会計年度末に比べ13億15百万円増加しております。

(単位：百万円)

	前連結会計年度末	当第1四半期 連結会計期間末	増減
完成販売用不動産	1,778	1,714	△64
仕掛販売用不動産	4,508	8,251	3,743
開発用不動産	5,035	2,671	△2,363
合計	11,322	12,637	1,315

(注) 当第1四半期連結会計期間より、中古マンション買取再販事業の拡大等に伴い、販売用不動産の保有区分を見直しております。なお、前連結会計年度末の金額は、変更後の区分に基づいて組替えております。

【その他の事業】

その他の事業には、ソフトウェア開発事業及びシステム提供事業、一般放送事業（有線テレビ放送事業）や電気通信事業等の生活関連サービス事業、建築工事業等が含まれております。売上高は22億44百万円(前年同期比2.4%増加)、営業利益は3億8百万円(前年同期比4.8%減少)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

総資産は、前連結会計年度末に比べ43億5百万円増加し、1,610億27百万円となりました。これは、売上債権が減少しましたが、現金及び預金、有価証券及び販売用不動産が増加したことなどによるものです。

負債は、前連結会計年度末に比べ18億30百万円増加し、1,071億63百万円となりました。これは、引当金及び仕入債務が減少しましたが、流動負債の「その他」が増加したことなどによるものです。

純資産は、前連結会計年度末に比べ24億74百万円増加し、538億64百万円となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上、配当金の支払い及び非支配株主持分の増加などによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期通期の連結業績予想につきましては、現時点において2023年5月12日に公表いたしました予想数値に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	32,421	34,725
受取手形、売掛金及び契約資産	31,379	29,421
電子記録債権	9,949	9,466
有価証券	5,000	7,000
商品	10,023	10,005
販売用不動産	11,322	12,637
未成工事支出金	200	561
その他	2,656	3,052
貸倒引当金	△173	△180
流動資産合計	102,779	106,688
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	11,623	11,666
土地	27,559	28,212
その他（純額）	2,543	2,449
有形固定資産合計	41,726	42,328
無形固定資産	825	707
投資その他の資産		
投資有価証券	6,375	6,567
その他	5,096	4,822
貸倒引当金	△80	△86
投資その他の資産合計	11,390	11,303
固定資産合計	53,942	54,339
資産合計	156,722	161,027

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	22,203	22,007
電子記録債務	15,152	14,434
短期借入金	20,997	21,886
1年内償還予定の社債	40	40
未払法人税等	652	176
引当金	2,092	835
その他	8,682	13,098
流動負債合計	69,820	72,478
固定負債		
長期借入金	25,368	24,355
退職給付に係る負債	1,266	1,297
その他	8,876	9,031
固定負債合計	35,512	34,684
負債合計	105,332	107,163
純資産の部		
株主資本		
資本金	24,426	24,426
資本剰余金	13,271	13,271
利益剰余金	12,135	13,728
自己株式	△829	△829
株主資本合計	49,003	50,596
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	217	574
繰延ヘッジ損益	12	12
土地再評価差額金	△214	△214
為替換算調整勘定	△847	△872
退職給付に係る調整累計額	△168	△177
その他の包括利益累計額合計	△1,000	△677
非支配株主持分	3,387	3,945
純資産合計	51,390	53,864
負債純資産合計	156,722	161,027

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
売上高	55,924	49,469
売上原価	47,963	42,553
売上総利益	7,961	6,916
販売費及び一般管理費	6,608	6,804
営業利益	1,352	111
営業外収益		
受取利息	2	1
受取配当金	67	66
為替差益	40	109
その他	88	123
営業外収益合計	198	301
営業外費用		
支払利息	214	188
その他	13	11
営業外費用合計	227	199
経常利益	1,323	213
特別利益		
固定資産売却益	21	1,965
投資有価証券売却益	-	1
退職給付制度改定益	253	-
負ののれん発生益	-	141
段階取得に係る差益	-	81
特別利益合計	274	2,191
特別損失		
固定資産除売却損	49	38
減損損失	-	123
特別損失合計	49	161
税金等調整前四半期純利益	1,548	2,243
法人税、住民税及び事業税	140	29
法人税等調整額	289	106
法人税等合計	429	135
四半期純利益	1,118	2,107
非支配株主に帰属する四半期純利益	43	43
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,075	2,064

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	1,118	2,107
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△12	364
繰延ヘッジ損益	△6	0
為替換算調整勘定	△184	△25
退職給付に係る調整額	△173	△8
その他の包括利益合計	△376	331
四半期包括利益	742	2,438
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	701	2,387
非支配株主に係る四半期包括利益	41	50

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	建築資材	住宅	計		
売上高					
外部顧客への売上高	47,103	6,628	53,731	2,192	55,924
セグメント間の内部売上高 又は振替高	591	195	786	1,100	1,886
計	47,694	6,823	54,517	3,293	57,811
セグメント利益又は損失(△)	1,858	△379	1,479	324	1,803

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、一般放送事業、建築工事業及びソフトウェア開発・販売事業等を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,479
「その他」の区分の利益	324
セグメント間取引消去	△3
全社費用(注)	△447
四半期連結損益計算書の営業利益	1,352

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	建築資材	住宅	計		
売上高					
外部顧客への売上高	41,030	6,194	47,225	2,244	49,469
セグメント間の内部売上高 又は振替高	444	55	500	1,306	1,806
計	41,475	6,250	47,725	3,550	51,276
セグメント利益又は損失(△)	562	△205	356	308	664

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、一般放送事業、建築工事事業及びソフトウェア開発・販売事業等を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	356
「その他」の区分の利益	308
セグメント間取引消去	2
全社費用(注)	△555
四半期連結損益計算書の営業利益	111

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「建築資材」、「住宅」、「その他」及び報告セグメントに帰属しない全社資産の各事業用資産について、収益性の低下等により回収可能価額まで帳簿価額を減額し、減損損失を計上しております。

減損損失計上額は「建築資材」4百万円、「住宅」10百万円、「その他」7百万円、報告セグメントに帰属しない全社資産100百万円であります。

(重要な負ののれん発生益)

「建築資材」において、持分法適用関連会社であった株式会社三友の株式を追加取得し連結子会社化したことに伴い、負ののれんが発生しております。当該事象による負ののれん発生益の計上額は、当第1四半期連結累計期間において、141百万円であります。

なお、負ののれん発生益は特別利益のため、上記セグメント利益には含まれておりません。